



田尻町議会だより

たじりの風

8 3 3 5

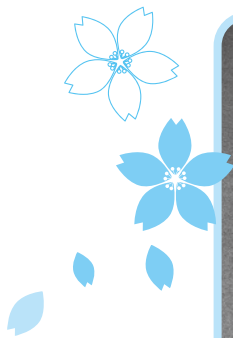
Vol.107

平成28(2015)年
5月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



おめでとうございます



主な内容

- ★ 一般質問 2 頁
- ★ 委員会報告 5 頁
- ★ 行政視察報告 9 頁
- ★ この人にインタビュー 10 頁
- ★ 議員表彰 10 頁

一般質問

- 大門 久恭 議員 1. 電力自由化に伴い公共施設の電気購入先の検討を
- 金田 裕治 議員 1. 給食費の無料化について
- 仁部 順行 議員 1. 平成28年度施政方針の中、町政運営の基本方針について
2. 重点施策の定住促進策について
3. 学校教育について
4. 農協跡地について
- 東 小夜子 議員 1. 施政方針より教育・子育て支援について
2. 通学ルートの安全対策について
- 吉開 育子 議員 1. 「地方自治の本旨」を根付かせる「変革」をすすめるうえで栗山町長の強いリーダーシップの発揮とそれを体現する「自治基本条例」の制定を
2. 公約の誠実な実行を期待する
3. 「大阪泉州農業協同組合田尻支店」移転後の跡地利用について
4. 南海電鉄「吉見ノ里」駅の無人化の解消、駅舎側の踏切拡幅について

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



大門 久恭 議員

問 電力自由化に伴い公共施設の電気購入先の検討を

答 早急に検討する

問 平成28年4月より電力小売りが自由化になり、複数の事業者が名乗りを上げている。現在本町の施設においても一般電気事業者から使用電力を購入している。安価な電力の新電力会社、PPS特定規模電気事業者に切り替えることがコスト縮減につながる。また、今回参入する企業の中には太陽光発電を行うなど環境に優しい会社もあるので、その点からも検討してはどうか。

答 **総務課長** 経常的経費である電気代の削減は、本町に限らずこの自治体においても重要な課

題であり、かつその電力が太陽光等のエコなものであれば地球温暖化対策にも資するため、近い将来において関西電力等のいわゆる地域電力会社と新電力事業者との比較検討を行うことは必須と考えている。本年4月以降、国が事業者を厳しくふるいにかけるとの事なので、その状況と近隣の導入状況を見極めつつ、早急に検討する。





金田 裕治 議員

問 学校給食費については、 完全無料化しないのか

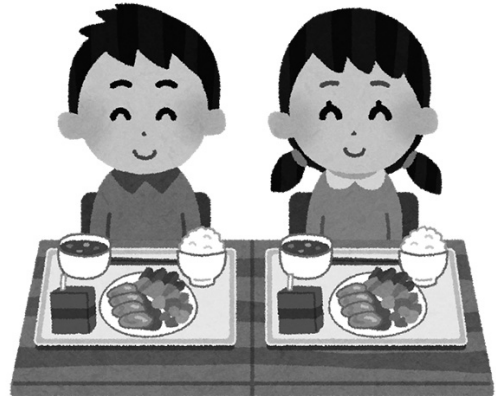
答 一部助成は行うが、応分の負担は継続していく

問 町長は給食費の無料化を公約に掲げていたが、平成28年度予算を見ると全額無料化ではなく一部軽減になっている。なぜ全額無料化しないのか。

答 **学事課長** 学校給食の全額無料化については、税の公平性や給食を食べているという応益性から考えると法の趣旨を損なう恐れがある。

今回、物価の上昇や献立の内容、量の充実を図るための増額にあたる部分を助成することで、今後物

価が上がっても長期的に支援を図っていける負担軽減策としている。



仁部 順行 議員

問 今後の町政運営を問う

答 諸問題解決のため副町長をおきたい

問 平成28年度施政方針の中、「町政運営の中で市町村に求められる行政ニーズは複雑かつ多様化の一端をたどっており、これまでのように国や府の方針に基づき施策を展開していくという姿勢から転換し、田尻町という地域の課題は行政と関係機関と住民の方々が主体的に考え、解決する」とあるが副町長はおかない内容のことなのか。

答 田尻町が抱える問題点は多く、広域行政への対応、関西国際空港関連の問題等、いろんな問題を抱えており、高い行政経験、豊富な見識を有する大阪府から再度、副町長に打診したいと思う。

問 中学生の海外研修の実現は

答 引き続き検討する

問 学校教育については国際理解教育の推進、関西国際センター研修生との交流等、素晴らしい成果を挙げているが、より一層の英語力を習得できるようにと中学生の海外研修を以前から提案してきたが、町長が代わってその方針はやめたのか。

答 安全面、経済的等の様々なことをクリアしながら引き続き検討する。



東 小夜子 議員

問 学校給食でのアレルギー対策は

答 できる限り同じものを食べられるよう対応する

問 アレルギー疾患対策の基本理念を定めたアレルギー疾患対策基本法が、昨年12月25日に施行された。基本指針や計画づくりで重視したいのが、過去に死亡事故もあった学校給食による食物アレルギーである。基本法もアレルギー体質の子どもへの配慮を学校に義務付けているが、田尻町の取り組みは。

答 **学事課長** 今までは牛乳が駄目な方には家から牛乳に代わるものを持ってきてもらった。

今回の見直しでは、できる限り皆が同じものを食べられるように対応していく。現在も安全が大事であるので、医師の診断書、指導票を出していただい

て、子どもへの配慮や保護者の理解を得て、一件一件対応している。

問 保育所駐車場が必要では

答 府道前の空き地を協議検討していく

問 保育所は車で子どもを預けて仕事に行かれる場合も多い。布団や荷物もある中、保育所横の駐車場では足りず、道路に駐車されている。飛び出しなど危険だと思う。府道前の空き地を保育所の駐車場にするべきでは。

答 **こども課長** 送迎による車の問題は近隣からも指摘されている。注意喚起や啓発活動を今後も行っていく。

都市政策課長 空き地を駐車場に使うことも候補と考えている。その場合には、府道前という危険回避等も含め、以前に問題となった雨の日の土を路上に運ぶことのないよう舗装を施すとか協議、検討を進める。



吉開 育子 議員

問 インフルエンザ予防接種の無料化実施を

答 現段階では時期尚早と考える

問 施政方針には公約の「小学校卒までインフルエンザ予防接種の無料化」が取り上げられていない。共産党議員団が行った町民アンケートでは世代を超えて86%もの強い支持があった。今年はインフルエンザの流行で小学校で5クラスも3日間の学級閉鎖になっている。インフルエンザにかかると一気に高熱が出て1週間ぐらい咳や倦怠感などが残り、学校を1週間も休まなくてはならず学習に支障がかかる。学級閉鎖が起こらない町にしたい。ほかの自治体で全額でなくても一部助成を行っているところがある。神戸市などのように一部助成からでも実施を行っていただきたい。

答 **町長** 私もインフルエンザにかかったり学級閉鎖にならないように、インフルエンザの無料化を考えた。

しかし、担当職員から説明があった効果やリスクを考え総合的に判断すると、現段階では踏み切るのは時期尚早と考えている。

問 吉見ノ里駅の大阪側の踏切の拡幅を

答 大阪側の拡幅は、大変困難である

問 吉見ノ里駅踏切の和歌山側が拡幅され、通学・通行の安全が片側では確保された。しかし、町道新家田尻線の大阪側にお住いの住民の通学・通行は大阪側にそって通行してくるため、大阪側の踏切が拡幅されなければ安全を確保できたとはいえない。

答 **都市政策課長** 計画段階では両側拡幅となっていたが、交差点協議など調整が難航、和歌山側だけの拡幅となった。大阪側にお住まいの住民は、踏切から約60m山側に横断歩道を設置するので和歌山側歩道に渡っていただきたい。大阪側の踏切の拡幅は、駅舎や改札機などの移転に係る高額な改修費用など、大きな課題があり大変困難である。

委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 仁部 順行

審査結果、並びに経過報告 (3月8日開催)

◎行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定の件

(条例の制定) 【全会一致で可決】

・行政不服審査法の全部改正に伴い所要の改正を行うものである。

◎職員の退職管理に関する条例制定の件

(条例の制定) 【全会一致で可決】

問 この条例が制定されれば、利害関係のある企業へ就職ができなくなるのか。

答 この条例は再就職を禁止するものではなく、本条例に該当する場合は「届け出」をするようにというものである。

原案賛成討論 届け出を怠るような職員は、部課長になることが不的確であり、過料を制定するまでなく、人事上の問題として対応ができ、原案で十分対応できる。

修正案反対討論 公務員は在職中においても、厳しい規制や拘束があり、退職後も守秘義務のように守り続けなければならないものもある。また、国であれば天下りの規制として必要な措置かもしれないが、小規模団体の本町において過料まで科す必要があるのか疑問である。

修正案 賛成1、反対3で否決された。

◎町長の退職手当の特例に関する条例制定の件

(条例の制定) 【全会一致で可決】

問 町長の判断は次の町長の退職手当の考え方に影響力を持つと思うが。

答 自分自身の判断であり、他に強要するものでもない。自らの公約実現のため少しでも役立つようにと判断した。その時その時で、時の町長が判断すべきものと考ええる。

◎田尻町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 人事評価の公表方法はどのように考えているのか。

答 人事評価は職員のモチベーションを上げ、組織の活性化を目的とする。公表についてもこの趣旨のもと考えていきたい。

◎職員の勤務時間に関する条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 この条例改正の対象者は何名か。

答 小学校就学の始期に達するまでの子のある職員等がすべて対象となるものである。

◎職員の休日、休暇等に関する条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 夏季休暇等長期休暇の連続取得はどうなっているのか。

答 夏季休暇等については連続取得の呼びかけを行っているが、業務の内容や人員配置等により、必ずしもすべての職員が取得可能というわけにはいかない。住民あつての役場であり、業務の停滞があつてはならないと考える。

◎議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

・地方公務員災害補償法施行令の改正に伴い所要の改正を行うものである。

◎田尻町議会議員報酬等条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【賛成3、反対1で可決】

反対討論 社会通念上、消費者物価指数も上がっており、報酬も長年据え置いてきたのに、議員の報酬だけを上げるのかということで、町民の納得を得られない。

賛成討論 ベースとなる議員報酬は府内最低であり、議員のなり手という問題もある。人事院は2年連続でプラスの勧告を出しており、消費をリードする上でも原案には賛成する。また、上げるときだけではなく、下げるときも人勧に基づき実施しており、今回も人勧のとおりすべきである。

◎特別職の職員の給与に関する条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【賛成3、反対1で可決】

問 今回の改正で、特別職それぞれどれくらい上がり、支給額はいくらになるのか。

答 平成27年12月のボーナスは、町長が、7万4,980円増で、支給額、303万6,690円、副町長が、7万955円増で、支給額287万3,678円、そして、教育長が、6万4,745円増で、262万2,173円である。

反対討論 消費者物価指数も上がっており、人勧の指示とはいえ、その抽出企業は、大企業であり、民間が上回っているとは考えられない。また総務省統計局の「統計でみる市町村のすがた」をみると平成26年度 田尻町の課税対象所得は、86億4,900万円、納税義務者は、2,603人であり、一人当たり平均、332万円の所得となる。

これを見ると、人勧だからといって給与の引き上げというのは、おかしいと思うし、住民の理解を得られないと考える。

賛成討論 給与者世帯年収は624万円から590万円に低下していることは認識しているが、だからと言って、民間の給与をどこでだれがリードしていくのか。人事院は大企業が好調であることを中心に、引き上げようとしているわけで、また、労使関係の良好な関係を構築するためにも原案に賛成する。人勧が上げれば上げ、下げれば下げてきたわけであり、今回も人勧のとおりすべきである。

◎田尻町一般職の職員の給与に関する条例等一部改正の件

(条例の一部改正) 【賛成3、反対1で可決】

問 55歳以上の職員の昇給停止は行っているか。

答 実施している。

反対討論 人事院勧告を遵守し、町独自の調査をしていないことに驚きを感じる。田尻町の課税対象所得者の所得は、一人当たり平均、332万円であり、町職員の昨年度の平均所得は、608万円です。また、稼ぐ自治体として、地域内循環を活性化し、地域内の住民の所得を増やす施策をしていないので原案に対して反対である。

賛成討論 本町の職員体制や執務に係る状況をみると民間の給与状況及び官民の格差を調べるにはなかなか大変な状況にあると認識している。今回の改定は職員の士気を高めるものであり、地域経済の活性化に資するものだと考える。反対討論には、経済の活性化の策がないといわれていたが、民間の給与を上げるためにも、公務員の給与が上がることで好循環を生む。今回の人事院勧告が、民間企業への刺激となり経済の好循環に転じるものと期待して、賛成する。家計に景気の回復が実感できるのは、賃金上がることである。公務員の給与が上がることを不満に思うのは違うと思う。公務員が低所得の方が救われていくような施策を次から次へと出していくことで、救われていく。公務員もそのようなことを感じながら、施策を講じてほしい。そしてあがった給与で景気の回復を図ってもらいたいと考え、賛成する。

◎田尻町消防団員等公務災害補償条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】
・非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い所要の改正を行うものである。

◎田尻町の環境農林水産行政に関する事務を泉佐野市に委託することに関する協議の件
(委託に関する協議) 【全会一致で可決】
問 移譲を受け本町で行う事務はあるのか。
答 大阪府の事務をいったん田尻町が受け、それをすべて泉佐野市に委託するものである。

◎泉州南消防組合規約の一部変更に関する協議の件
(規約の一部変更に関する協議) 【可否同数により委員長可決】

問 テロや様々な災害に対して迅速な対応のため、経験を必要とするのならば、なぜ任期を2年としたのか。
答 関係市町の管理者で協議をされ、管理者を固定するのではなく、大きい市の行政経験を活用していくべきとの判断から、2年ごとの交代となった。あくまで一人で行うのではなく残り5名の副管理者が補佐することで、良好な関係のもとどう進めていくか、ということであり、あくまで管理者ひとりで行っていくものではない。

反対討論 討論としては、テロや大規模災害に即応、迅速な判断を行うことが消防業務の大原則であり、その管理者が2年ごとで交代し、かつ、正管理者に町長がなれない、町は副管理者のみということである。有事の際に2年ごとの交代で対応できるのか。合議制の取り決めでもあればよいのだがそれもない。本町をはじめ、町長の位置づけが納得いかない。

◎平成27年度田尻町一般会計補正予算(第4号)の件
(2億8,806万6千円の増額) 【賛成3、反対1で可決】
問 民間住宅耐震診断補助金及び改修補助金が減額と

なっているが、件数は0件だったのか。
答 2件分見込んでいたが、0件だった。

反対討論 人勧に含まれているので反対とする。
賛成討論 人勧には賛成であり、3月補正ということで、プラスマイナスの調整という内容において適正に執行されているので賛成とする。

◎平成27年度田尻町下水道事業特別会計補正予算(第2号)の件
(1,872万9千円の減額) 【賛成3、反対1で可決】

問 町債で4,260万円減額しているがその理由は。
答 今後の世代も長期間使用するものには、本来は負担の公平化、平準化の観点から起債するのが妥当であるが本町の財政状況は、26年度決算で黒字が2億2千万円あり、その2分の1以上を基金に積み立てることになっており、1億1千万円を基金に積み立てている状況にあり、借金の金額にもよるが、貯金をしているのにかかわらず、利息の付く何千万もの借金をすべきどうか検討した結果、起債せずに一般財源で賄った。

反対討論 人勧が含まれているもののみ反対とする。
賛成討論 人勧の実施については賛成すると同時に、将来にわたって借金をつくらないという財政の考え方を支持し、評価し賛成とする。

◎平成27年度田尻町水道事業会計補正予算(第2号)の件
(722万2千円の減額) 【賛成3、反対1で可決】

問 水道企業団からの受水料は、どのくらいか。
答 大体年間100万㎡である。

反対討論 人勧が含まれているので反対とする。
賛成討論 人事院勧告の水道事業会計への反映も、また水道事業会計も適正に行われているので賛成とする。

文教厚生常任委員会

委員長 吉 開 育 子

審査結果、並びに経過報告 (3月9日開催)

◎田尻町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 地域限定保育士は資格面において従前の保育士とどこが違うのか。
答 従前の保育士と、受験資格、受験科目等同じである。保育士試験の受験回数が増えるということであり、レベルは変わらない。

◎田尻町子ども医療費の助成に関する条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 対象年齢を3歳引き上げることによる影響額は。
答 年間約300万円の増と見込んでいる。

◎田尻町墓地条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 墓地のあずまやだが、日よけにはなるが、構造上雨除けにはならない。急な雨への対応も考えてほしいが。

答 今後土地利用が変わるかもしれない、あまり強固な構造物は、考えていない。しかし、今後の土地利用の状況に応じて必要と思われるときには判断をしていきたい。

◎田尻町国民健康保険条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】
・国民健康保険法の政令の一部改正に伴い所要の改正を行うものである。

◎田尻町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】
・大阪府においては、保育士不足の解消のため、国家戦略特別区域法における特区制度を活用し、地域限定保育士が創設されたことに伴い所要の改正を行うものである。

◎田尻町育児支援事業の実施に関する条例を廃止する条例制定の件
(条例の制定) 【全会一致で可決】
・平成28年4月から町立幼稚園で3歳児の受け入れを再開することに伴い所要の改正を行うものである。

◎平成27年度田尻町一般会計補正予算(第4号)の件
(2億8,806万6千円の増額) 【全会一致で可決】
・歳入歳出ともに実績に伴うものや入札に伴う差金に係る補正予算である。

◎平成27年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)の件
(233万5千円の増額) 【全会一致で可決】

問 特定健康診査については、減額となっている。特定健診は大切だと思うが、実際いきにくい。だから減額となっているのだと思う。もっと勧奨すべきと思うが。

答 受診機会を増やすため、日曜日に集団健診を行ったり、今年度は検査項目を追加し健診内容の充実を図ったり常に努力を重ねているところであり、受診率は伸びているが、計画通りの伸びではない。受診率が伸びている他団体などの向上策を研究していきたい。

◎平成27年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)の件
(44万7千円の増額) 【全会一致で可決】
・人件費の決算見込みによるものやシステムの改修が主な補正予算である。

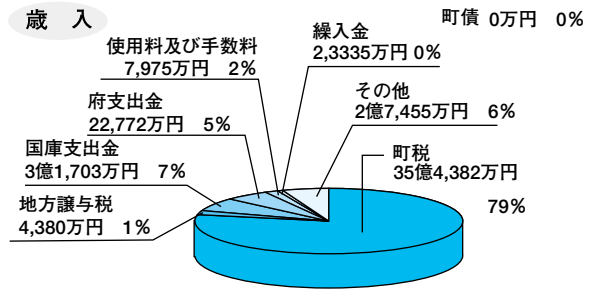
◎平成27年度田尻町介護保険特別会計補正予算(第3号)の件
(64万3千円の増額) 【全会一致で可決】
・人件費の決算見込みによるものやシステムの改修が主な補正予算である。

決算特別委員会

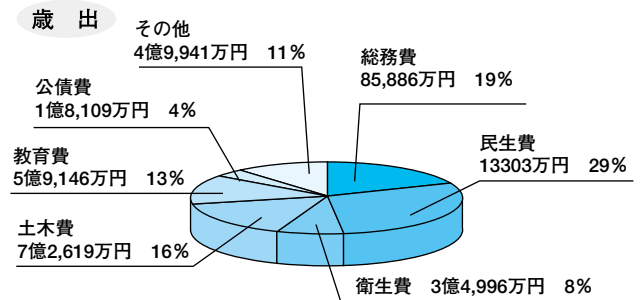
委員長 中川 達夫

審査結果、並びに経過報告 (3月11・14日開催)

◎平成28年度田尻町一般会計予算の件
・45億1,000万円 【全会一致で可決】



歳入
問 第2ターミナルから本町にはどのぐらい税収しているのか。
答 第2ターミナルは、現在、約2,500万から3,500万の間で推移している。



歳出 総務費
問 マスコットキャラクター製作委託料はまた新しくつくるのか。
答 今のたじりっちも活躍しているが、ちょっと歩きづらい点もあるので、その点を改良した2体目をつくろうと考えている。

民生費
問 ふれ愛センターの有効利用を問う。
答 現実に月に1回か2回しか使わないような部屋もあり、あれだけ大きな立派な建物なので、根本的に全体的にもう少しどのように使ったらいいのかというものを時間をかけて検討してみたいと考えている。

衛生費
問 備品購入費の公用車購入は清掃車両購入と思うが、これは2台あるがその内訳は。
答 この備品購入費の992万円については、今あるロータリー車が年数がたっているの、パッカー車に買い替えるものである。

商工費
問 今年度の就労支援講座はどういう講座を開こうと考えているのか。
答 就労支援講座は28年度については今のところ、求人等が多い介護職員の研修、並びにフォークリフトを28年度も引き続き行いたいと思う。その他調整が必要だが、医療事務と調剤薬局の関係の講座を開きたいと考えている。

消防費
問 デジタルになれば現在のスピーカーはどう変わるのか。聞き取りやすくなるのか。
答 現在は複数の情報伝達の体制をとっている。スピーカーから流れると、電話問い合わせで流れた放送と一緒に

委員会報告

の内容が確認できる。あと大阪府の防災メールを通じて、登録していただいている皆さんの携帯に同じ内容が配信されている。そういう形の補完システムをとっているの、ご理解のほどお願いします。

教育費

問 幼稚園保育所運営費の中に修繕料1,200万円上がっているが、これはどのような修繕をするのか。

答 主に電気周りや水回りの修繕がここ最近ふえてきており、そういった修繕に使用する予定である。

賛成討論 栗山町政の初めての予算編成となり、4年間の基本的な考えが示され、平成28年度は、「町長退職手当の半減」、「子供医療費助成の高卒までの引き上げ」、「本町の実情に応じた3世代同居、近居に対する施策」、「給食の充実、負担軽減」、「教員補助員の配置」など、町長の公約の実現が見て取れる。今後も公約の実現に向け、住民の皆さんのご意見、ご要望をよく聞いて進められることを希望し、賛成とする。

◎平成28年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算の件

・10億210万8千円 【全会一致で可決】

問 町から国民健康保険に加入してもらおうよう訴えたりとかそういう方法は何かされているか。

答 まず、転入時にどういう保険に入っているかというのを確認できるので、何も保険に入っていないければ、当然国民健康保険の方には必ず入っていただく形になるので、住民課の窓口で国民健康保険の担当の方に案内させていただき、加入の手続きをさせていただいている。

◎平成28年度田尻町後期高齢者医療特別会計予算の件

・1億152万円 【全会一致で可決】

問 本町においての後期高齢者の人数と滞納者の人数は。

答 被保険者数は、28年1月末現在944名で、滞納者についてはいない。

◎平成28年度田尻町介護保険特別会計予算の件

・6億7,307万8千円 【全会一致で可決】

問 28年度中に29年度から始まる総合事業案のタイムスケジュールは、いつごろ計画がまとめられ、対象者に説明されるのか。

答 まだ具体的には決まっていないが、当然来年度から予算組み等々を含め、夏過ぎ、遅くても秋には事業主体を決めていかなければいけないと思っている。

◎平成28年度田尻町下水道事業特別会計予算の件

・7億2,166万6千円 【全会一致で可決】

問 下水道はいつ完済するのか。

答 一般会計の今のまま起債をしなければ、平成42年度に完済予定となっている。

◎平成28年度田尻町水道事業会計予算の件

・3億5,594万円 【全会一致で可決】

問 実際水道会計は27年度は黒字だったが、それを当て込んで借金せずに、工事を行うという考えはないのか。

答 3条予算ならここ数年2,000万から2,500万円の黒字だが、4条予算はここ数年、老朽管工事や、その辺の施設の改良等、いろいろやっております赤字になっているので3条予算の黒字分等で今賄っている。そのため、起債を発行せずにとというのは、今のところ難しい状況である。

審議結果

意見が分かれた議案名	審議結果	仁部順行	明貝一平	吉開育子	小川雄司	東小夜子	中川達夫	大門久恭	小林健治	金田裕治	坂口実
職員の退職管理に関する条例制定の件	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×
田尻町議会議員報酬等条例一部改正の件	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×
特別職の職員の給与に関する条例一部改正の件	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×
田尻町一般職の職員の給与に関する条例等一部改正の件	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×
平成27年度田尻町一般会計補正予算(第4号)の件	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×
平成27年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)の件	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×
平成27年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)の件	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×
平成27年度田尻町介護保険特別会計補正予算(第3号)の件	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×
平成27年度田尻町下水道事業特別会計補正予算(第2号)の件	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×
平成27年度田尻町水道事業会計補正予算(第2号)の件	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×
副町長を選任するにつき同意を求める件	同意	○	○	○	議	○	×	○	○	○	○
田尻町議会議務活動費の交付に関する条例一部改正の件	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×

○…賛成 ×…反対 議…議長のため賛否なし

総務建設常任委員会視察報告

委員長 仁部 順行

本委員会では、1月19日から20日において山梨県昭和町に「財政力を活かした住民福祉に役立てる」と称して二日間にわたり研修を受けて参りました。昭和町では昭和59年から今日まで地方交付税不交付団体を継続するなど財政力が高く、国が直面する人口急減、超高齢化の課題を、一足早く克服しつつある状況の自治体であります。高度経済成長期に併せ、中央自動車道の開通インターチェンジが町内に設置されたことから工業団地を核としたテクノポリス構想が計画され、その推進により基幹産業としての工業が発展し、近年では大型店舗が進出するなど地域の核として形成している町でありました。また、議会の特徴としては、早くから住民に開かれた議会を目指し、議会改革推進会議を立ち上げ「学ぶ議会」「行動する議会」「改革・革新する議会」を目標に取り組み、地域住民との協働を図っております。昭和町は、まちづくりの理念として協働型のまちづくりの推進による「住民主役の町」の構築を掲げ、ともに創る、うるおいと躍動の都市と定め、より住民生活が豊かで幸せを支えるまちづくりを目指すために

各種の公共施設の整備を進めております。特に教育関係として、太陽光発電や風力発電を利用したエコスクールとして2校の小学校の立て替えがおこなわれました。新校舎は教室と廊下の壁が無く、開放的であり、展望台があるなど、斬新なデザインが採用されています。特に建て替えの計画段階においては、生徒にどんな学校が良いのか意見を聞き学識経験者、教師等の話し合いにより建設されました。ほかにも町営の温水プール、地域交流センター、町立総合体育館が建設されています。今回の視察により「財政力を活かした住民福祉に役立てる」と称した研修を通じ、本町における今後の課題整理の一途が示されたと考えます。特に議会と理事者側が、より住民の皆様に対して豊かで暮らしやすいまちづくり、魅力あるまちづくりを目指すための構築、即ち、どのような合意形成が重要であるか、そのための考え方を何処に視点を置き、住民が求めるものは何であるかを的確につかむことが重要であるかを確信できたと考えます。

文教厚生常任委員会視察報告

委員長 吉開 育子

文教厚生常任委員会は、1月26日に山口県の下関市、27日は周南市において行政視察を行いました。

下関市では、「コミュニティ・スクール推進事業」について説明を受けました。

「コミュニティ・スクール」とは、地域住民・保護者・教員で構成する協議会を設置し、学校運営や教育活動の方針、地域住民の学校教育活動への支援の在り方などについて話し合い、地域の方々の声を取り入れ、学校運営を行う事業です。「地域とともにある学校」をめざし、下関市は平成24年度から市内74カ所すべての小中学校で「コミュニティ・スクール」を実施している全国的にも先進的な自治体です。

ボランティアによる「学校応援団」が学校に出向き、読み聞かせや学習支援、イベントなどを学校でおこない、それぞれの地域の特色をいかした学校づくりを進めていました。この事業により、地域住民と学校との交流・連携が深まり小中学生の授業態度や学力向上にもよい効果

をもたらしてきているとのことでした。

27日は周南市で実施している「もやいネットセンター」について視察しました。平成25年度から高齢者が安心して暮らせる取り組みとして実施していたものを28年1月からは高齢者や子供・障がい者・生活困窮者などの総合的な福祉の相談窓口に改めスタートしました。

相談窓口は、月曜日から金曜日の日中は市役所の地域福祉課内に設置されており、夜間と土・日・祝日は委託している事業所が受け付けるため、365日24時間対応です。相談窓口を1本化したことにより、誰でもどんなことでも気軽に相談でき、相談の内容でコーディネーターが関係機関につないでいます。話相手や介護保険・虐待・認知症に関することなど相談件数は増加しているとのことでした。相談窓口がひとつなので、とにかく電話すれば関係機関につないでくれることや、夜間でも対応してもらえるということは住民にとって安心できる事業だと感じました。

この人にインタビュー

田尻町人権協会会長 人権擁護委員

とよだ み え こ
豊田三枝子さん (67歳)

Q 人権協会に携わって何年になりますか？

A 今年で7年目になり、昨年より会長に就いています。母の介護や姉の看病のあと中学校教員を早期退職し、同じ学校の嘱託を経た後に委員の依頼があり、役にたてるならと引き受けました。

Q 人権擁護委員として主にどのような活動をしていますか？

A ふれ愛センターで月1回の人権相談を開催し、岸和田市の法務局で月数回の電話相談を受け付けています。じっくりお話しを聞き、人権侵害にあたるかどうかを専門家に繋ぎます。

人と話すのが好きで、教員時代は授業をするのが大好きでした。昨年は他の人権擁護委員さんと共に、幼稚園5歳児に人権に関する紙芝居をしました。子どもたちからは元気をもらい、相談活動もやりがいがあります。

Q 趣味は何ですか？

A 読書です。「朗読と人形劇～ゴーシュを語る会～」で

上演する劇づくりを考えるのも楽しみです。また、有機栽培で野菜作りもやっています。おいしいと評判です。

Q どんな田尻町になってほしいですか？

A 子どもが生き生きと成長する町に。ある講演会で「物より人」ということを聞きました。建物は20～30年で古くなり補修するが、人は成長します。人を大切にする町になってほしいです。



熊本地震被災地に支援(寄附)

熊本地震により、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

田尻町議会では、被災者を支援するため、日本赤十字社を通じて10万円(全議員1万円ずつ)を寄附いたしました。

全国町村議会議長会より特別表彰を受賞

町議会議員として自治の振興発展に対する多大な貢献が認められ、小川雄司議員が特別表彰を受賞されました。



田尻議会の千ヨット教えて

臨時議会ってナニ??

A 議会は定例議会と臨時議会があり、定例議会は基本的に1年間に4回開催するものと決まっています。(6月、9月、12月、3月)臨時議会はこの4回以外に開催されるものであり、早急に議会にかけられる案件が出てきた場合などに開催します。時期は特に決まっていますが、5月に開催される臨時議会は、議長副議長の役選(2年に1回)やその他各種役員の選考があるため、毎年開催しています。

編集後記

木々の緑もまぶしい季節となりましたが、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

また、平素より町議会に対し暖かいご支援をいただき、本当にありがとうございます。

本号をもちまして私たちは広報委員の任期を終えます。任期中においては、議会だよりをより多くの方々に読んでいただけるよう、改善に努めてまいりました。今後とも議員一丸となって取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いたします。

議会だより広報 委員長 明貝 一平 副委員長 吉開 育子
委員 東 小夜子 小林 健治 金田 裕治